

第71回

北海道身体障害者福祉大会 紋別大会



とき 令和5年9月23日(土)

ところ 紋別市スポーツセンター

主催：一般社団法人 北海道身体障害者福祉協会
紋別市身体障害者福祉協会

共催：紋別市 社会福祉法人 紋別市社会福祉協議会

大会スローガン

一、北身協および加盟団体の
組織強化を図ろう

一、心のバリアフリーを
地域に根づかせよう

目次

大会長あいさつ	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会会長 藤 田 孝太郎	1
歓迎のことば	紋別市長 宮 川 良 一	2
大会次第		3
大会役員		4
後援団体		4
令和5年度北海道善行賞受賞者名簿		5
令和5年度北海道身体障害者福祉協会会長表彰受賞者名簿		6
<全体会議>		
第68回登別大会	要望事項処理報告	8
第71回紋別大会	提出議案	11
大会宣言	(案)	14
大会決議	(案)	15
<第71回紋別大会 関係資料>		
実行委員会名簿		16
第71回紋別大会参加団体一覧		17
全道身体障害者福祉大会年次開催地一覧表		18
会場案内図		19



一般社団法人 北海道身体障害者福祉協会
会長 藤田 孝太郎

第71回全道身体障害者福祉大会紋別大会の開催にあたり一言ごあいさつを申し上げます。

全道各地から数多くの皆さまにお集まりいただき、流水と大地の恵みに富んだまち、ここ紋別市において、第71回全道身体障害者福祉大会を開催することができました。

大会の開催にあたりましては、紋別市及び紋別市社会福祉協議会の皆さまをはじめ、地元の紋別市身体障害者福祉協会の皆さまには大変なご尽力をいただきましたことを、心から感謝を申し上げます。

また、ご自身がその障がい克服され、懸命に努力されましたことや永年にわたる地域社会での障がい福祉活動、援護活動などが評価され、本日受賞されます皆さま方には心からお祝いと感謝を申し上げます。これからも健康に留意され、それぞれの地域で、より一層ご活躍されますことをお願い申し上げます。

さて、令和3年5月に成立しました改正障害者差別解消法が、来年4月1日から施行されることとなりました。これまで努力義務とされていた民間事業者による合理的配慮の提供が義務化されます。法律の実効性を高めるためには、地域において心のバリアフリーの理解を深め、普及していくことがますます重要となっています。

北海道身体障害者福祉協会では、様々な補助事業や委託事業等を通して、加盟団体の皆さまと組織強化を図りながら、北身協の活動にご支援いただいている関係団体、企業の皆さまと一緒に、北海道に根ざした心のバリアフリーを広げ、障がい者差別のない誰もが住みやすい地域社会をめざして、一層努力をしてまいりたいと考えております。

新型コロナウイルスの影響によりまして、3年間福祉大会の開催ができませんでした。紋別大会がコロナ禍で蓄積された様々な工夫を上手に取り入れながら開催された、今後の大会につながる意義深い大会となれば幸いです。

結びに、本大会にご参加いただきました皆さまのご健勝と今後ますますのご発展をご祈念申し上げますとともに、大会の開催にご尽力いただきました皆さまにお礼を申し上げごあいさつといたします。



歓迎の言葉 ～ようこそ紋別市へ～ 紋別市長 宮川 良一

第71回全道身体障害者福祉大会が、ここ紋別市で開催されますことをお慶び申し上げますとともに、全道各地からお集りの会員の皆様並びにご来賓の皆様を心から歓迎申し上げます。

長い歴史を有する本大会は、障がいのある方々の生活の質の向上、社会参加の促進、自立更生など数々の成果を挙げ、北海道における障がい福祉の向上に大きく寄与されているところであり、今大会で第71回を迎えられたことに、深く敬意を表する次第であります。

障がい福祉を取り巻く情勢としては、平成28年4月に障がいを理由とする差別解消の推進に関する「障害者差別解消法」が施行後、令和3年5月の同法改正により事業者による「合理的配慮の提供」が義務化され、令和6年4月1日の施行により、障がい者の権利の実現に向けた取り組みが今後一層強化されることとなります。また、令和3年度の「障害者総合支援法」の改正から3年を迎え、障がい者支援制度の見直しのため現在、様々な協議や検討が行われているところです。

本市におきましても、「紋別市障害者計画」を策定し、相談支援体制の充実・強化、障害児療育、就労支援の充実などを掲げております。特に就労支援につきましては、第2期紋別市総合戦略でも重点施策の一つとしており、障害者就業・生活支援センターが未整備区域であることから、同センターと同等の業務を行う「紋別市障害者就労支援事業」を独自に実施し、就労を希望する障がいのある方や家族からの相談、職場開拓及び職場定着のための支援を行い、住み慣れたまちで安心して暮らせる体制づくりに取り組んでおります。今後とも、市民や関係機関の皆様と連携しながら、障害福祉施策の推進に努力して参りたいと考えております。

皆様をお迎えする紋別市は、豊かで雄大な自然に恵まれ、農林水産業や加工業などを基盤にオホーツク圏の中核都市として発展して参りました。本市には訪れる人を魅了する豊かな海の幸を代表とする紋別ならではの味覚がございますので、今大会にご参加の皆様におかれましても、ご賞味いただければ幸いに存じます。

結びに、大会の成功と参加された皆様のますますのご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げますとともに、開催にあたりご尽力、ご支援いただきました皆様に、心から感謝と御礼を申し上げ、歓迎の言葉といたします。

大会次第

式典及び表彰

9:30

開会のことば	副大会長（北海道身体障害者福祉協会副会長）	田中利和
1 国歌斉唱		
2 黙 禱		
3 主催者あいさつ	大会長（北海道身体障害者福祉協会会長）	藤田孝太郎
4 歓迎のことば	紋別市長（名誉大会長）	宮川良一
5 表 彰	北海道善行賞 北海道身体障害者福祉協会会長表彰	
6 祝 辞	北海道知事 北海道議会議長 紋別市議会議長	鈴木直道 富原亮 鈴木敏弘
7 来賓紹介	北海道議会議員 北海道議会議員	久保秋雄太 新沼透
8 祝電披露		
9 謝 辞	受賞者代表	深川市 石水一成
閉 式		

全体会議

10:45

1 開 会		
2 議長団選出・あいさつ		
3 第68回大会処理報告	北海道身体障害者福祉協会事務局長	澤口隆之
4 審 議(要望事項)		
5 大会宣言提案・採択	北海道身体障害者福祉協会理事	今 順子
6 決議提案・採択	北海道身体障害者福祉協会理事	木村正裕
7 議長団退任		
8 次期開催地・挨拶	釧路地区身体障害者福祉協会会長	石田正義
9 万歳三唱	北海道身体障害者福祉協会代表監事	白幡浩
10 閉会のことば	副大会長（北海道身体障害者福祉協会副会長）	大橋俊彦

閉会

12:30

大会役員

名誉大会長	紋別市長	宮川良一
名誉副大会長	紋別市議会議長	鈴木敏弘
名誉副大会長	社会福祉法人紋別市社会福祉協議会会長	渡部章
大会長	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会会長 紋別市身体障害者福祉協会会長	藤田孝太郎
副大会長	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会副会長	田中利和
副大会長	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会副会長	大橋俊彦
大会参与	紋別市副市長	稲葉宏剛
〃	紋別市議会副議長	宮川正己
〃	紋別市教育委員会教育長	牧野昌教
〃	紋別市保健福祉部長	西田尚市
〃	紋別市民生委員児童委員連絡協議会会長	山川宏治
〃	紋別市町内会連絡協議会会長	船山洋明
運営委員	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事	東海林繁幸
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事	石田正義
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事	今順子
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事	木村正裕
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事	阿部喜美夫
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事	齊藤徹
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事	須佐理恵子
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会代表監事	白幡浩
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会監事	西田悦朗

後援団体

北海道

社会福祉法人北海道社会福祉協議会

社会福祉法人北海道共同募金会

公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟

日本赤十字社北海道支部

紋別市教育委員会

紋別市民生委員児童委員連絡協議会

公益財団法人北海道新聞社会福祉振興基金

令和5年度北海道善行賞受賞者名簿

【自立活動者】5名（敬称略）

市町村名	氏 名
日高郡新ひだか町	かじ うら えい こ 梶 浦 榮 子
小樽市	かみ やま りき お 神 山 力 男
勇払郡占冠村	たか ぎ あき お 鷹 木 秋 夫
磯谷郡蘭越町	た ばた いさむ 田 端 勇
深川市	まえ だ おさむ 前 田 修

【自立支援功労者】4名（敬称略）

市町村名	氏 名
夕張郡長沼町	い せ じゅんぞう 伊 勢 準 三
枝幸郡中頓別町	しょうじ しげ ゆき 東海林 繁 幸
深川市	なか おち ゆき お 中 落 幸 雄
小樽市	なか だい たか こ 中 臺 孝 子

令和5年度北海道身体障害者福祉協会会長表彰受賞者名簿

【自立更生者表彰】9名（敬称略）

市町村名	氏名
泊村	かね た ゆき お 金 田 幸 雄
泊村	いわ た たい こ 岩 田 泰 子
泊村	しま にし けい こ 島 西 恵 子
洞爺湖町	かさ い ひろ こ 笠 井 寛 子
新ひだか町	あさ い よう こ 浅 井 洋 子
函館市	かしわ ふみ こ 柏 文 子
小樽市	せい の ふさ こ 清 野 房 子
滝川市	かわ ぐち こ 川 口 きよ子
深川市	いし みず かず しげ 石 水 一 成

令和5年度北海道身体障害者 福祉協会会長表彰受賞者名簿

【援護功労者表彰】14名（敬称略）

市町村名	氏名
八雲町	いわさきとしえ 岩崎富志江
南幌町	くまききみお 熊木喜美夫
比布町	いしはらてつお 石原哲夫
比布町	さとうつねじ 佐藤恒司
比布町	ふくしままさかず 福島正一
比布町	なかたそういち 中田莊一
中富良野町	やすかわえみこ 安川笑子
中札内村	くぼたふみお 久保田文男
白糠町	いしだまさよし 石田正義
羅臼町	はままつあさお 浜松朝男
羅臼町	いわせいし 岩瀬イシ
函館市	さいとうたいこ 齋藤泰子
美唄市	おがさわらゆたか 小笠原裕
石狩市	しんどうかずこ 新藤和子

第68回登別大会要望事項処理報告

- 1 重度心身障害児者が急病に陥った時、患者やその家族が安心してベストの医療が受けられるような医療機関のチームワークの確立について

(一般社団法人函館市身体障害者福祉団体連合会)

数年前に、当会の会員(30歳位)がある病院に入院していて、一定期間を過ぎたので、退院しなければなりませんでした。その後、容体が悪くなり、その病院では診てもらえず別な病院を紹介されて、そこに転院する時も車の中に人工呼吸器やサクシオンなどの設備がないまま転院先の病院に直行しました。

しかし、その当直の医師も本人の病気や病歴などもわからず、時間を要しているうちに容体が急変して死亡しました。ある病院から別の病院への連絡時も手間取ったと親御さんは言っていました。結局たらいまわしにされて、死んでしまったということです。

よって、重度心身障害児者が急病に陥った時、患者やその家族が安心してベストの医療が受けられるような医療機関のチームワークの確立をお願いしたい。

(回答：北海道)

現在、国において、全国どこでも必要な医療を受けられるよう医療的ケア児等の症状や診察記録を共有するシステムの開発を行っているところです。

また、道においては、ICTを活用して医療機関間等が患者に関する情報を共有し、地域全体で診る・支える体制を構築するため、患者情報共有ネットワーク構築事業(設備整備)を実施するとともに、医療的ケアを必要とする小児等が、在宅においても必要なサービスが提供されるよう、地域で在宅療養を支える体制を構築するため、小児等在宅医療連携拠点事業を実施し、関係者の連携強化に向けた取組や患者・家族に対する相談支援を実施している事業者に対して補助を実施しているところです。

第68回登別大会要望事項処理報告

2 身体障害者手帳のカード化について

(一般社団法人北海道身体障害者福祉協会)

平成31年3月29日、厚生労働省は新年度(平成31年4月1日)より、これまでの療育手帳につづき、障害者の利便性の向上につながるのとこととで、身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳のカード化を認めました。

厚生労働省は「発行主体となる自治体は、カード化に向けた検討を積極的に行って欲しい」と呼びかけており、カード化は義務ではないものの個々の自治体が、当事者のニーズなどを踏まえて、どちらか選択できるようになるものです。

本人や家族が希望すれば、紙製の手帳をこれまで通り使い続けていくことも可能ですが、障害者手帳の交付を受けて数十年を経過して現在、高齢者や後期高齢者となり当時の顔写真では容易に本人と判別することが困難になる中で、紙製の手帳での再発行は可能ではあるものの北海道としてもカードでの再発行も早急に取り組んでいただきたく、新規や再発行のカード化を早急に対応していただきたく要望します。

また、北海道でも既にカード化への検討が行われているならば、実施時期はいつ頃からなのか大凡の目処を教えてください。

(回答：北海道)

- 都道府県、政令市及び中核市において紙形式で交付している障害者手帳について、平成31年4月から、「身体障害者福祉法施行規則及び精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行規則の一部を改正する省令」の施行により、手帳の様式が削除されるとともに、「手帳交付対象者が希望する場合は、カード形式(プラスチック等)での交付が可能」である旨、国から平成31年3月29日付通知により示され、その導入の可否は各地方自治体に委ねられたところです。
- しかしながら国主導で決定された本件は、身体・精神・知的の3つの障害者手帳では、法的根拠、各種減免・割引の摘要範囲、割引を証明する方法などについて相違があり、3手帳制度全般の整合性が図られるよう検討する必要があるほか、障害者手帳を活用している他制度の所管課や市町村等と調整する必要があるなど、課題が多いことから、現在、国に対し、3手帳制度全般の整合性、財源の措置、地方自治体や関係団体等との必要な議論を行うよう要望しております。
- 道としては、引き続き、国に対して、より良い制度運用となるよう要望するとともに、今後、他の自治体の状況のほか、手帳制度を活用している関係機関や道内の障がい者関係団体等のご意見を伺うなどして、カード形式の導入の可否について、総合的に判断してまいりたいと考えております。

第68回登別大会要望事項処理報告

3 高齢者・視覚障がい者用LED付音響装置について

(一般社団法人北海道身体障害者福祉協会)

日頃より視覚障害者の交通安全に特段のご高配をいただき感謝しております。

最近歩者分離式の信号機システムが多く個所に設置されていますが、そうであることを知らない視覚障害者は車が発信する音を頼りに歩きだすため、歩行者用信号機が赤の時に車道に飛び出す危険性が多々あります。

特に下記交差点は札幌市の中心部や北海道行政の中心箇所でもあり、早急に「高齢者・視覚障がい者用LED付音響装置」の設置をしていただき、痛ましい交通事故を未然に防ぐことを要望します。

- 1) 札幌市中央区北2条西6丁目・7丁目交差点(北海道警察本部前の交差点)
- 2) 札幌市中央区大通西3丁目大通ビッセと大通西4ビル間の交差点
- 3) 札幌市中央区大通西4丁目(明治安田生命札幌大通ビルと道銀ビルとの間の交差点)

(回答：北海道警察本部)

高齢者や視覚障がい者の方が安心安全に横断できる装置の必要性につきましては承知していますが、現在、設置されている視覚障害者用付加装置等の老朽化が著しいため、それらの更新工事に重点を置いて整備している現状をご理解いただき、要望につきましては、今後の整備方針の参考とさせていただきます。

第71回全道身体障害者福祉大会提出議題（要望事項）

- 1 道内全ての聴覚障害者が「要約筆記」（日本語文字通訳）を利用できる体制構築について

（一般社団法人函館市身体障害者福祉団体連合会）

【現状と課題】

手話通訳がわからない聴覚障害者にとって、文字で情報支援する通訳である「要約筆記」は重要な意思疎通支援手段です。

そのため、要約筆記は、「障害者総合支援法」で、市町村が実施する地域生活支援事業（意思疎通支援事業）に定められています。北海道は令和3年度時点で32.4%の実施率であり、全国平均の77%に遥かに及んでいません。

多くの市町村に居住の聴覚障害者が外出先等での意思疎通に困難を抱えている状況です。

【要望事項】

- 1 市町村が単独で意思疎通支援事業を実施できないケースが多々あるため、当面、北海道が代わりに通訳者を派遣できる体制を整備してください。
- 2 北海道は広大で、都市間の移動にも時間がかかるため、通訳者養成の講座は、札幌のみでの実施ではなく、道内主要都市で開催できるよう体制を構築し、受講者に負担がかからないようにしてください。通訳者が一部地域に偏在しないことにもつながります。
- 3 「聴覚障害者には手話通訳」というイメージがありますが、途中で聞こえなくなった方や加齢により聴力低下した方など、手話通訳が理解できない方は多くおります。

また、「要約筆記」という日本語文字通訳があることを知らない方は、障害者・健常者にかかわらず多くおられると思います。

利用したいという方、要約筆記の担い手、双方の増加に繋がるよう、道民へのわかりやすく、より伝わる周知啓発を実施してください。

第71回全道身体障害者福祉大会提出議題（要望事項）

2 医療的ケア児支援センターを複数個所設置してもらいたい

（一般社団法人函館市身体障害者福祉団体連合会）

令和3年に施行された「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」第14条の規定により、医療的ケア児及びその家族等に対する専門的相談への対応、情報提供等の支援業務等（「医療的ケア児支援センター」）を都道府県知事が指定した者へ行わせることができるようになりました。

北海道では、令和4年6月に「北海道医療的ケア児等支援センター」が設置されましたが、広域の北海道では、複数個所の設置が必要となります。

北海道において、今後の医療的ケア児支援センターの設置に関して、どのような施策があるか教えていただきたいと思えます。

是非、道内に複数の医療的ケア児支援センターが設置されるよう要望します。

第7 1 回全道身体障害者福祉大会提出議題（要望事項）

3 有料道路における障害者割引制度の拡大について

（一般社団法人北海道身体障害者福祉協会）

有料道路における障害者割引制度については、見直しが行われ、令和5年3月27日からこれまで事前登録された自動車に限り、この割引が適用されていましたが、自家用車を保有していない人が知人の車やレンタカーを利用する場合や、介護が必要な重度の障害者がタクシーを利用する場合など、事前登録がない自動車でも新たに割引が適用されることとなりました。

ただし、現行の割引制度は、乗車定員10人以下の自動車等が対象であり、乗車定員の多いバスなどは対象となっていません。

身体障害者福祉協会等では、身体障害者福祉大会をはじめ、障害者スポーツ大会など障害者福祉協会会員が貸し切りバス等で移動する場合も多く、このような場合も有料道路の障害者割引が適用されるよう見直しを要望します。

大会宣言(案)

コロナ禍を越え、全道から参加した多くの仲間とともに、ここに第71回全道身体障害者福祉大会紋別大会を盛大に開催することができました。

北海道身体障害者福祉協会は、障害者権利条約を踏まえ、障害当事者参加のもと、障害者施策の促進と障害特性に配慮した社会環境の整備が図られるよう、加盟団体と強く連携し、全力で活動してまいりました。

また、障害者が孤独、孤立に陥らないためにも障害及び障害者に対する国民的理解を地域に根づかせるべく、私たちが主体となって取り組んでいかなければなりません。

そして、障害のある私たち一人ひとりが発信者となり、社会生活において、困っていること、改善解消を必要とすることを伝え、相互理解を深めていかなければなりません。

さらに、国連障害者権利委員会の総括所見に対する国の今後の対応について注視していくとともに、その実現に向け障害者関係団体と連携して取り組んでまいります。

北海道身体障害者福祉協会に結集する私たちは、障害によって分け隔てられることなく、誰もが安心安全に暮らせる地域共生社会の実現を目指して、一致団結し、行動することを誓い、ここに宣言します。

令和5年9月23日

第71回全道身体障害者福祉大会紋別大会

大会決議（案）

- 1 障がいの社会モデルの理解啓発を道内全域で進めよう
- 2 北海道に根ざした心のバリアフリーを広げよう
- 3 災害時における被災者支援の充実を図ろう
- 4 北身協と加盟団体連携のもと、組織体制の強化と活性化を図ろう
- 5 地域の相談支援体制の中で身体障害者相談員の活動強化を図ろう

令和5年9月23日

第71回全道身体障害者福祉大会紋別大会

第71回全道身体障害者福祉大会 紋別大会関係資料

第71回全道身体障害者福祉大会 紋別大会実行委員会名簿

実行委員長	紋別市身体障害者福祉協会会長	藤田孝太郎
副実行委員長	社会福祉法人紋別市社会福祉協議会事務局長	岩谷智浩
	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会事務局長	澤口隆之
実行委員	紋別市身体障害者福祉協会副会長	阿部秀子
〃	紋別市身体障害者福祉協会副会長	白坂雅子
〃	紋別市身体障害者福祉協会理事	成田駿一
〃	紋別市身体障害者福祉協会理事	吉田光雄
〃	紋別市身体障害者福祉協会理事	鍋島智幸
〃	紋別市身体障害者福祉協会理事	坂本幸子
〃	紋別市身体障害者福祉協会事務局長	西村茂年
監事	紋別市身体障害者福祉協会監事	後藤友孝
〃	紋別市身体障害者福祉協会監事	金子トヨ子

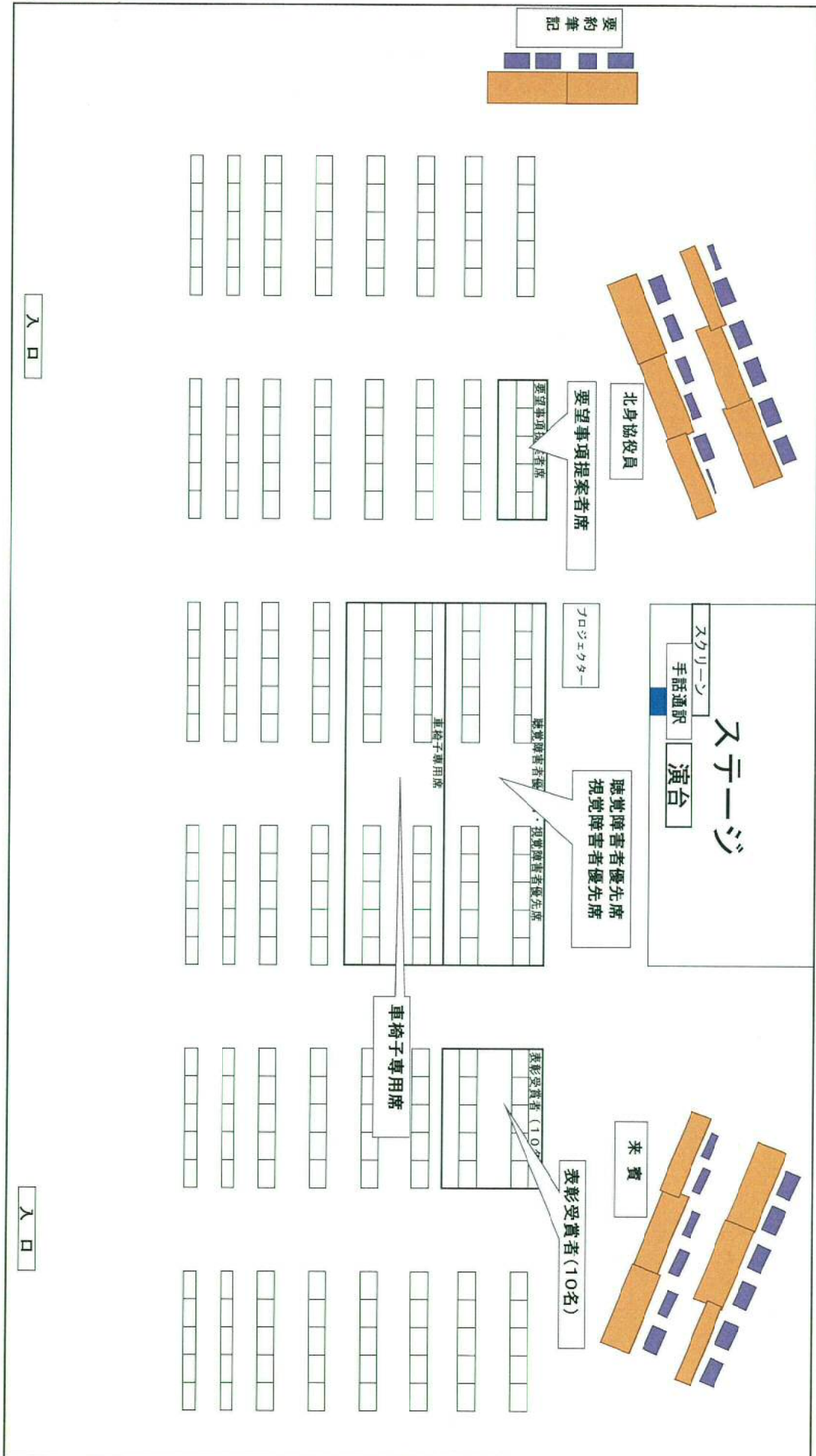
第71回紋別大会参加団体一覧

泊村身体障がい者福祉協会	一般社団法人釧路身体障害者福祉協会
妹背牛町身体障害者福祉協会	一般社団法人帯広身体障害者福祉協会
中頓別町身体障害者福祉協会	一般社団法人北見身体障害者福祉協会
枝幸町身体障害者福祉協会	網走市身体障害者福祉協会
利尻富士町身体障害者福祉協会	美唄身体障害者福祉協会
北海道身体障害者福祉協会佐呂間分会	芦別市身体障害者福祉協会
網走地区身体障害者福祉協会湧別分会	江別身体障害者福祉協会
網走地区身体障害者福祉協会興部分会	紋別市身体障害者福祉協会
網走地区身体障害者福祉協会大空分会	士別市身体障害者福祉協会
北海道身体障害者福祉協会音更分会	滝川身体障害者福祉協会
北海道身体障害者福祉協会芽室町分会	砂川身体障害者福祉協会
釧路地区身体障害者福祉協会白糠分会	深川身体障害者福祉協会
羅臼町身体障がい者福祉協会	登別身体障害者福祉協会
一般社団法人函館市身体障害者福祉団体連合会	伊達身体障がい者福祉協会
一般社団法人小樽身体障害者福祉協会	石狩市身体障害者福祉協会
一般社団法人室蘭身体障害者福祉協会	

全道身体障害者福祉大会 年次開催地一覧表

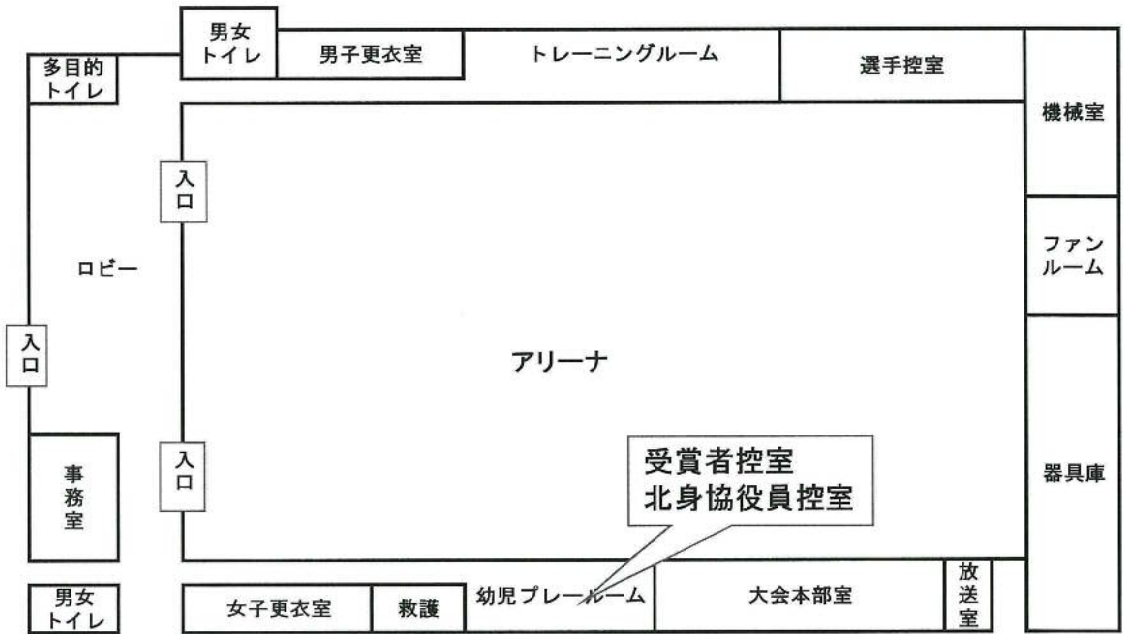
第 回	開催年月	開催地	第 回	開催年月	開催地
1	1952年6月	札幌市	36	1987年6月	千歳市
2	1953年6月	小樽市	37	1988年7月	函館市
3	1954年7月	釧路市	38	1989年7月	釧路市
4	1955年12月	函館市	39	1990年7月	砂川市
5	1956年6月	札幌市	40	1991年7月	滝川市
6	1957年6月	旭川市	41	1992年7月	紋別市
7	1958年6月	小樽市	42	1993年7月	室蘭市
8	1959年7月	室蘭市	43	1994年7月	留辺蘂町
9	1960年8月	美唄市	44	1995年7月	稚内市
10	1961年8月	帯広市	45	1996年7月	江別市
11	1962年8月	士別市	46	1997年9月	小樽市
12	1963年8月	苫小牧市	47	1998年8月	芦別市
13	1964年8月	千歳市	48	1999年10月	北見市
14	1965年8月	岩見沢市	49	2000年10月	名寄市
15	1966年7月	函館市	50	2001年10月	旭川市
16	1967年8月	赤平市	51	2002年10月	釧路市
17	1968年7月	室蘭市	52	2003年10月	函館市
18	1969年7月	旭川市	53	2004年10月	伊達市
19	1970年8月	札幌市	54	2005年10月	美唄市
20	1971年7月	小樽市	55	2006年10月	登別市
21	1972年8月	帯広市	56	2007年10月	弟子屈町
22	1973年7月	釧路市	57	2008年10月	北斗市
23	1974年8月	北見市	58	2009年10月	夕張市
24	1975年7月	苫小牧市	59	2010年10月	帯広市
25	1976年7月	美唄市	60	2011年9月	千歳市
26	1977年7月	函館市	61	2012年9月	釧路市
27	1978年7月	虻田町	62	2013年5月	札幌市
28	1979年7月	留辺蘂町	63	2014年7月	函館市
29	1980年7月	恵庭市	64	2015年9月	恵庭市
30	1981年6月	砂川市	65	2016年9月	小樽市
31	1982年6月	室蘭市	66	2017年10月	石狩市
32	1983年7月	旭川市	67	2018年9月	札幌市
33	1984年6月	小樽市	68	2019年10月	登別市
34	1985年7月	岩見沢市	69	2020年9月	深川市
35	1986年7月	帯広市	70	2021年10月	帯広市

第71回全道身体障害者福祉大会紋別大会配席表



スポーツセンター平面図

1階



2階



第71回全道身体障害者福祉大会 紋別大会

発行年月日 令和5年9月23日
編集者 第71回紋別大会実行委員会
発行者 一般社団法人 北海道身体障害者福祉協会
紋別市身体障害者福祉協会
印刷所 横田印刷株式会社
